

平成 21 年度のエネルギー使用量等について報告します

市役所では、環境負荷削減のためエネルギー使用量等の抑制に努めています。平成 21 年度は、一部使用量が増加した項目もありましたが、平成 22 年度は、エコカーの導入推進、残業の抑制等により削減をめざします。(市では、平成 23 年度に市の事務事業から発生する CO₂ 排出量の平成 20 年度比 10%削減をめざす「野洲市地球温暖化対策実行計画」を策定しています。)

項 目	H20 実績値	H21 実績値	H20 との比較
ガソリン使用量	39,967 ℓ	40,552 ℓ	+ 1.5%
軽油使用量	9,020 ℓ	8,024 ℓ	- 11.0%
灯油使用量	55,962 ℓ	49,083 ℓ	- 12.3%
電気使用量	5,101,692 kWh	5,135,364 kWh	+ 0.7%
ガス使用量	103,796 m ³	90,649 m ³	- 12.7%
太陽光発電売電量	25,047 kWh	26,480 kWh	+ 5.7%
二酸化炭素排出量	3,247 t	3,224 t	- 0.7%
紙使用枚数	11,182,996 枚	9,891,707 枚	- 11.5%
水道使用量	61,835 m ³	65,150 m ³	+ 5.4%
可燃ごみ排出量	84,453 kg	102,622 kg	+ 21.5%

※旧 ISO14001 適用施設



◆環境課
☎ 587 - 6003
☎ 587 - 3834

使用済みてんぷら油 回収 BOX 設置場所

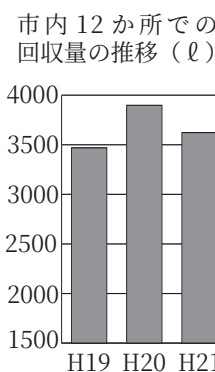
野洲幼稚園 (正門裏)
三上幼稚園 (玄関横)
コミセンみかみ (駐輪場)
コミセンきたの (駐輪場)
コミセンぎおう (駐輪場)
コミセンしのはら (駐輪場)
市役所 (北側駐輪場)
旧市役所分庁舎 (駐輪場)
旧中主公民館別館 (玄関横)
吉川矢放神社向かいごみ集積所
小堤城山館 (玄関横)
小南集落センター (駐輪場)

注意! …BOX 内を確認してから、あふれないよう廃食油を投入してください。なお、動物性油脂 (ラードなど) は入れないでください。

使用済みてんぷら油をエネルギーに!

製業者に資源として引き渡

か? 簡単に説明します。



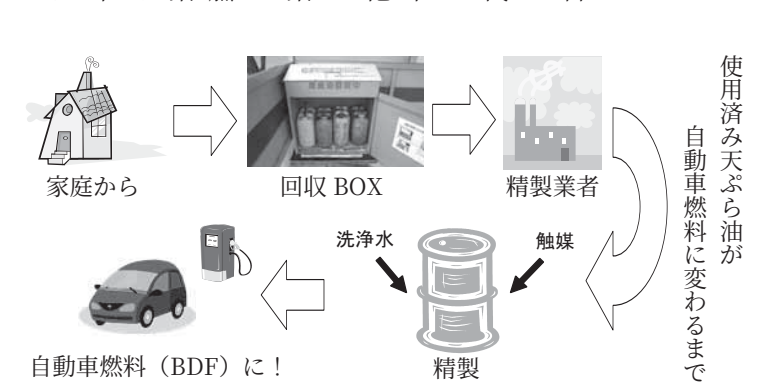
皆さんのご家庭で使用され
たてんぷら油が、再資源化さ
れていることはご存知でしょ
うか?

皆さんが回収 BOX に出さ
れた廃食油は、市が BDF 精

し、軽油の代替燃料である B
DF (バイオディーゼル燃料)
に精製されています。市では、
そのうちの一部を公用トラッ
クや家庭ごみの収集車の燃料
として活用しています。

BDF の特長は、軽油の代
わりとしてディーゼルエンジ
ン車に使用でき、排気ガス中
に有害物質である硫黄酸化
物 (SO_x) をほとんど含まない
ことや、発生する二酸化炭素
(CO₂) が軽油に比べて少ない
ことが挙げられます。特に燃
焼により発生する二酸化炭素
については、植物が成長する
過程で光合成によって空気中
から吸収されたものであるた
め、カーボンニュートラルと
いって地球上の二酸化炭素の
総量は一定である (増加しな
い) と見なされます。

使用済みてんぷら油は、その



毎月第 4 土曜は 廃食油回収の日

9 月 25 日(土) 午前 10 時~午後 1 時

回収会場: 市役所別館 (旧コミセ
ンやす) 横電話ボックス付近
回収物: 廃食油、牛乳パック、アル
ミ缶 環境課 ☎ 587 - 6003、
エコロジーマーケットやすの会・
増村 ☎ 586 - 1441

歴史の小窓

—学芸員のメッセージ—

(72)

歴史民俗博物館

☎587-4410、Fax587-4413

【9月の休館日】月曜・火曜日・24日(金) ※20日は祝日開館

◆館内燻蒸に伴う臨時休館／9月1日(水)～3日(金)

◆第65回銅鐸研究会「突線鈕式銅鐸の系譜とその変遷—近江とその周辺—」／9月18日(土)午後2時～4時 講師…戸塚洋輔さん(彦根市教育委員会)※当日受付

◆野洲の歴史入門講座「銅鐸の基礎知識」／9月25日(土)午後2時～4時 講師…進藤武(市文化財保護課)※当日受付、要資料代

◆秋期企画展「史跡大岩山古墳群とその全貌」／10月2日(土)～11月23日(祝)

国史跡大岩山古墳群の史跡整備が完了しましたので、その調査成果を中心に紹介します。

◆記念講演会「林ノ腰古墳と大岩山古墳群」&現地ウォーク(甲山・円山・天王山・大塚山 各古墳)／10月16日(土)午後2時～4時30分 対象…どなたでも／講師…辻川哲朗さん(滋賀県文化財保護協会)／申し込み…電話にて同館

三上藩陣屋の古文書発見

野洲市三上の橋本利衛さんから、屏風の下張りの紙の中にたくさん文字が記されていること、「三上御役所」宛の文書があることなどを教えていただきました。早速にお預かりして調査をさせていただきましたところ、三上藩の陣屋文書が廃棄され、屏風の下張りになったものであることが明らかになりました。

確認できた文書は、冊子になっていたものを解本して下張りに使用されたもので、バラバラになっていますが、文政2年(1819年)、天保

■三上藩領の村々

ところで、断片的ながら確認できる村名には次の村々があります。野洲郡では三上村、安治村・北村(以上野洲市)、岡村(守山市)、小田村(近江八幡市)、栗太郡では野尻村・西目川村(以上栗東市)、

甲賀郡では朝国村(湖南市)、植村・小川出村(以上甲賀市)、滋賀郡では南浜村・北浜村・小野村・今宿村・和邇中村・高城村(以上大津市)で、これらは、三上藩領1万石の内の村々です。また、日根郡嘉



発見された古文書

祥寺(大阪府田尻町)や浄土宗黒田寺(大阪府阪南市)の記載も認められ、やはり三上藩領の村です。

■三上村の記録

地元三上村のものでは、1819(文政2)年3月の「宗門御改帳」に、浄土真宗照覚寺旦那として「平兵衛」を筆頭とする紙片が見つかりました。三上村の平兵衛といえ、1842(天保13)年10月16日に三上村に甲賀郡・栗太郡・野洲郡の農民がおしよせた天保一揆の発頭人として知られる三上村庄屋土川平兵衛のことが思い起こされます。1843(天保

14)年4月25日江戸の獄中で亡くなった土川平兵衛は、「天保義民録」では43歳であったと言われ、今回発見文書の平兵衛は、年代からすると父親の平兵衛と考えられます。義民平兵衛に最も近いのは子の「佐助」で、この人が後の平兵衛であるのか今後の検討が必要です。義民土川平兵衛についての史料は多くありませ

ん。その中でこの紙片は、近江天保一揆を考える上で大切な史料になると思われます。

ところで、この帳面では、平兵衛の妻や子の常八の妻は、「女房」とのみしか記載されていません。しかし、娘の名前は記されています。女性史を考える上で参考になるものでしょう。

三上藩陣屋文書として唯一の史料群であり、今後いろいろなことを読み取ることができそうです。なお、「市史編さんだより」第24号でも紹介しています。(博物館学芸員 古川与志継)



平兵衛の名前が記された古文書片